

埼玉ブロック学生企画委員会 3SP 活動報告

本学生企画委員会は、以下の事柄を趣旨として 2010 年度より新たに立ち上げた埼玉県内の大学生を主体とした小委員会組織である。本委員会は、3SP (Saitama Students Science & technology Project) と称する。

- (1) 学生委員の発案企画により、埼玉ブロックの技術交流促進・社会貢献を図る
- (2) 埼玉ブロック内の学生の交流を図る
- (3) 参加した学生委員の企画・実行力やコミュニケーション能力の育成
- (4) 本活動を埼玉ブロック独自の活動として、今後の発展可能性が大いにある

今年度は 3 回の企画会議を経て、小学生向けのものづくりイベント「G-1 (ゴムワン) グランプリ 2013」を開催する運びとなった。本企画は、ゴム動力自動車の製作を通じて「ものづくり」や「考えること」などの大切さを体験してもらうために企画された。製作後の競技・審査で高得点が取れるよう、参加者に様々な創意工夫をしてもらい、「ものづくり」と「考えること」の楽しさを学習してもらうのが狙いである。イベントの周知は、ビラおよびポスターを作成し、各市町村図書館や公民館等に配布するとともに、3SP ホームページ上 (URL : http://www.sit.ac.jp/user/alan_hase/3SPtop.html) およびイベント掲示板、Twitter、郵送によるダイレクトメールを利用した。また、イベント前日の準備として、材料・工具や参加者名札の準備、ゴム動力自動車の見本製作や各競技の準備、採点用紙の作成、賞状の作成、イベントの段取り検討などを行った。以下に本イベントの実施結果を報告する。

日 時 2013 年 1 月 12 日 (土) 10:00~15:00

場 所 埼玉工業大学 30 号館 3011 教室 (定員 50 名)

題 名 G-1 (ゴムワン) グランプリ 2013—ゴム動力自動車を作って走らせよう！—

◆G-1 (ゴムワン) グランプリ 2013 概要

最初に主催側の挨拶として、本イベントの趣旨とイベントスケジュールについて説明した。つぎに、学生がスライドを用いて車の構造・仕組みや各部位の名称の説明を行い、ゴム動力自動車の作り方を説明した。特に、タイヤと路面との摩擦の重要性、製作時のポイントであるホイールベースやトレッドについて分かりやすく説明した。その後、学生達がサポートしながら参加者にゴム動力自動車を製作してもらった。

昼食後、製作したゴム動力自動車を実際に走らせて競技を実施した。競技は、走行距離、スピード、デザインの 3 種目を実施した。競技の結果を採点集計し、総合 1 位~3 位の入賞者と各競技の部門賞受賞者を決定した。最後に各競技の成績発表および表彰を行い、3SP 顧問による閉会の挨拶をして 15 時にイベントを閉会した。

◆参加者数

小学生：11 名 (参加費無料)、保護者：6 名の合計 17 名



写真 1：製作方法説明風景



写真 2：ゴム動力自動車製作風景



写真 3：G-1 グランプリ 競技風景



写真 4：G-1 グランプリ 競技風景



写真 5：G-1 グランプリ 競技風景

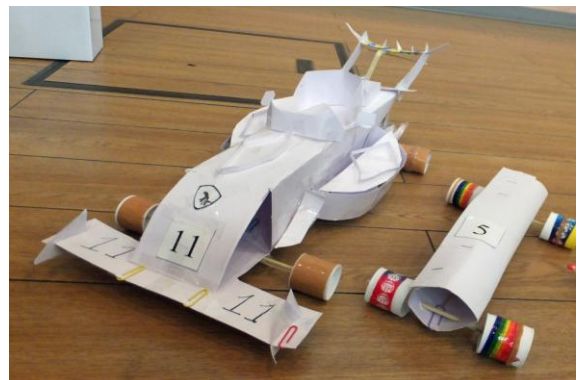


写真 6：デザイン部門賞受賞作品 (No. 11)

◆反省点と所感

今年度で3年目となる3SP学生企画委員会であるが、今回も子供向けのものづくり体験学習イベントを計画した。昨年に引き続き、競技形式にすることで子供達の製作意欲を向上させ、様々な競技を設けることで創意工夫の面白さを実感してもらうのが狙いであった。製作時にどの競技に重きを置くかを各自で決めて製作しており、我々の予想を上回る作品を製作している子供も多かった。また、保護者の方から「今回のイベントに参加させて頂く事で他の子供達のデザインや考えに触れ、何か吸収して欲しいと思い参加を希望しました。大学生のお兄さんにお世話になりその姿を見ることで、10年後に子供達が下の世代に返せるようになっていただくと願っています。」との意見もいただいており、当イベントの意義が達成できていることを実感することができた。

〔報告書作成 長谷 亜蘭〕

◆2012年度 3SP メンバー

委員長	埼玉工業大学 4年	鈴木 敏文
副委員長	ものづくり大学 2年	山下 裕輝
書記	埼玉工業大学 4年	大平 啓
	埼玉工業大学 4年	清水 和樹
	埼玉工業大学 4年	下方 昇大
	埼玉工業大学 3年	綿貫 弘毅
	埼玉工業大学 3年	霜鳥 洋樹
	埼玉工業大学 3年	大工原 健人
	ものづくり大学 2年	西村 亮介
	ものづくり大学 2年	小林 千紘
顧問	埼玉工業大学 講師	長谷 亜蘭